

システムの構築にも取り組んでいる。

▶ **日本語教育学会**^{※45} 社団法人

1977年に設立された日本語教師や日本語研究者の団体で、同種の団体の中では国内最大の規模を誇る。研究・研鑽の場として年2回の大会をはじめ各地で**研究集会**や**研修会**を行うほか、学会誌『日本語教育』を年3回発行している。

※45

前身は1962年設立の「外国人のための日本語教育学会」。

▶ **国際交流基金(JF)**^{※46} 独立行政法人^{※47}

日本に対する国際理解の増進を図ることを目的に、1972年に設立された機関である。日本語部門としては日本語教育支援部、日本語事業運営部があり、**日本語国際センター**(埼玉)、**関西国際センター**(大阪)の附属機関がある。海外の日本語教育支援事業として、**日本語専門家の海外派遣**、海外の日本語教師のブラッシュアップのための**訪日研修**や研究者の**専門日本語研修**、海外の教育機関への助成事業などを行っている。また、海外の**日本語教育関連情報の収集・発信活動**を行っており、2008年には海外における日本語教育の充実させるため、海外の日本語教育機関をつなぐ**JFにほんごネットワーク**(通称:さくらネットワーク)を設立した^{※48}。また、毎年、海外における**日本語能力試験**の実施をしているのも国際交流基金である。『日本語教授法 シリーズ』の刊行、若者向けの映像教材『エリンが挑戦! にほんごできます。』の制作、日本語教師支援のための**みんなの教材サイト**や日本語学習サイト**アニメ・マンガの日本語**などのwebサイトの運営も行っている。

※46

JF=The Japan Foundation

※47

設立当初は外務省所管の特殊法人だったが、2003年独立行政法人となった。

※48

世界各地の中核的な日本語教育機関との連携を通じて、海外における日本語教育の質を一層高め、より多くの人々に日本語学習の場を提供できることを目指している。

▶ **日本学生支援機構(JASSO)**^{※49} 独立行政法人

日本人学生と外国人留学生のための教育・交流事業の機関であった日本育英会、国際学友会、関西国際学友会、日本国際教育協会、その他の事業が整理統合されて、2004年に誕生した。日本語教育関連事業としては、**日本留学試験**を実施している。

※49

JASSO=Japan Student Services Organization

▶ **日本国際教育支援協会(JEES)**^{※50} 社団法人

2004年に財団法人日本国際教育協会が改組されて誕生した。日本語学習者のための**日本語能力試験**(国内)、日本語教師志望者および現役日本語教師を対象とした**日本語教育能力検定試験**を実施している。

※50

JEES=Japan Educational Exchanges and Services

コラム・日本語教師海外派遣プログラム

海外の日本語教育の現場へ公的に教師を派遣するプログラムに、国際協力機構（JICA）の**青年海外協力隊**、独立行政法人国際交流基金の**日本語専門家**、文部科学省の**REX^{※51}プログラム**（外国教育施設日本語指導教員派遣事業）などがある。

国際交流基金では、各国教育省、国際交流基金海外拠点、中等・高等教育機関などに日本語上級専門家、日本語専門家、日本語指導助手を派遣するほか、海外の日本語教師のブラッシュアップのための訪日研修を実施している。

また、民間にも多くの派遣プログラムがある。例えば、青年海外協力隊のOB、OGを中心とした団体、社団法人**青年海外協力協会**（JOCA^{※52}）は、東ヨーロッパ4カ国^{※53}にボランティアを派遣し、日本のポップカルチャーや伝統文化、日本語などの日本の文化を発信する**日本文化発信プログラム**を実施し、注目を集めた（2011年1月終了）。

※51 REX=Regional and Educational Exchanges for Mutual Understanding

※52 ジョカ。JOCA=Japan Overseas Cooperative Association

※53 ブルガリア、ハンガリー、ポーランド、ルーマニア

4.2 日本語・日本語教育関連の試験

重要

現在国内外で実施されている日本語関連の能力テスト（認定テスト）のうち、学習者向けテストの代表的なものとして、**日本留学試験**、**日本語能力試験**、**BJTビジネス日本語能力テスト**、**OPI**などが、日本語教師志望者および現役教師向けテストとして**日本語教育能力検定試験**がある。これらのテストは、OPI以外はいずれもその結果によって入学、就職、昇進が決まるといったように、受験生の今後に大きな利害をもたらすことから、**ハイ・ステークス・テスト^{※54}**に位置づけられる。

▶ 日本語能力試験(日能試、JLPT)

日本語能力の認定試験で、国内は財団法人**日本国際教育支援協会^{※55}**によって、海外は独立行政法人**国際交流基金**によって、運営されている。

認定レベルは、これまで上から1級、2級、3級、4級の4段階であったが、2010年度より新しい試験に移行し、**N1**（旧1級レベルだが、若干高め）、**N2**（旧2級レベル）、**N3**（新設。旧2級と3級の間レベル）、**N4**（旧3級レベル）、**N5**（旧4級レベル）の5段階となった。新試

※54 high stakes test. 結果が受験者に大きな影響を及ぼすテスト。

※55 1984年から2003年までは財団法人日本国際教育協会が実施していたが、改組に伴い日本国際教育支援協会へ継承された。